

自立と共生！

たくましい日本！

No. 201号

民主党 中川正春の **永田町かわら版**

2003年9月16日

〒100-8981 千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館 428号

TEL 03-3508-7128

FAX 03-3508-3428

<http://www.MASAHARU.GR.JP>E-mail [g03063@shugiin.go.jp](mailto:g03063@shugiin.go.jp)**○マニフェストで政権に挑戦**

自民党の総裁選がにぎやかに進んでいます。私達から見ると、今の日本の状況に対する危機感よりも、大臣ポストや、既存勢力、団体に気を使ったしがらみの中で、「コップの中の争い」でしかない。政策よりも、結局、小泉さんを引き立たせるための茶番劇。このように批判する訳です。

しかし、私の本音で言えば、これは決して他人事ではないと思っています。ついこの間、鳩山さんから菅さんへの代表交代劇も誉められたものではない。さらに、小沢さんを中心とする自由党と合流します。そのことに対して、今の自民党と同じような種を私達の党に持ち込むのではないかと言う国民の懸念がある。「私達は違う」と、答えていかなければなりません。

10月5日に、自由党との合流大会を催します。この機会に、私達の作ったマニフェスト(いつまでに何を実行するか、民主党としての具体的約束)に対して、党の議員と新人候補全員が、「私達が政権をとって、必ず実現します。」と誓約書を交わすことになっています。

天下りは、全面禁止します。衆議院の定数を80人削減して、400人にします。治安の回復と、新たな犯罪を防ぐために、3年間で4万人の警察官を増員します。税金の無駄使いの原因、国が地方を誘導するためにヒモ付きで降ろしていた補助金や負担金18兆円を、国民に身近な地方自治体で、自由に使えることにします。などなど、具体的な政策40項目あまりの実現を約束します。

これで、政権を取れば、事前に全員が国民に約束したマニフェストを、否も応もなく次から次へと実現していく訳ですから、内部の対立は出て来ようがない。また、それが、国民の選択だとすれば、一部不利益をこうむる団体も文句が言えない。

これが、私達が今度の選挙を戦う覚悟としたいのです。自民党とは違う責任のとり方をしたい。そんな

**○WTOの農産物交渉に直面する日本の農業政策の破綻**

農産物の貿易自由化をめぐって、カンクンでのWTO交渉の大詰めが迫っています。日本の海外からの米輸入に関する姿勢は、一貫して「出来る限りの手を尽くして、安い米の輸入を最小限に抑えたい。」という姿勢です。過去には、日本だけが輸入関税を高く設定する代わりに、定められた量は必ず輸入するから許して欲しいということです。これで6年間の時間稼ぎをして、6兆円の予算を組み、国内の米作り農家が、海外との競争ができるように準備を整える。これが政府のシナリオでした。あれから何年かたった今、WTOでは、改めて日本の米の関税を引き下げる決議がなされようとしています。

13日には、カンクンで世界の農業者が、1000人以上集り、関税引き下げ反対の大規模デモを行いました。先頭にたったのは、韓国の農民達です。日本の農業団体は、私達国会議員や官僚達に頼りきっているのが現状です。

「土地の所有権と耕作権の整理をちゃんとして、安心して農地を貸せる制度をつくり、わしらやる気のあるものに耕作させてくれたら絶対負けやへん。減反も廃止。米も片手間やなくて、それでメシ食ってくのやと、腹くった人間が作れば、うまくて安い米で勝負をする自身がある。今みたいな半殺しの中途半端が一番アカン。」先日の地域懇談会で出てきた専門農家のあととり、山本君の言葉です。

**○政治資金を支えていただいたこと、心から感謝します。**

恒例になっている地元での2回にわたるセミナーには、沢山の皆さんが参加をいただきました。お蔭

な気持ちをもって、11月9日に投票日と決まった総選挙に全力を尽くしていきたいと思います。

で、1200万円ほどの政治資金をご寄付いただいたことになり、心から感謝申し上げます。経済が縮んではいますが、一枚でも二枚でもという形でご協力いただいた皆さんが、数の上では増えています。しかし、全体の金額では例年の3割減となりました。10月10日の衆議院解散です。お金のかからない選挙に徹していきたいと思います。